

新たなお客さんを開拓中!

「カリンバ朝市」を開催

7月2日、もぎたて朝市会(会長 帰山二十子 会員8名)では、ひだか漁業協同組合と合同の直売市「カリンバ朝市」を行いました。

地元の野菜と魚の美味しさや魅力をもっと知って欲しい、そして、気軽に購入できる場を提供したいという想いから始められたこの朝市は、名前にもある通り、カリンパシヨッピングモール駐車場で、午前9時から販売を行いました。

どのくらいのお客さんが来てくれるのかという不安もありましたが、販売開始直後から多くのお客さんが詰めかけ、初回から大変な盛況をみせ、次回以降の開催へ向けた自信となりました。

また、7月23日には、新たな知識を吸収するために幕別町を中心とした視察研修を行いました。

この日は、直売関係の店舗や施設を中心に5箇所の視察を行いました。会員は、どのような商品が販売されているか、また、どのくらいの価格で販売されているかなど細かくチェックしていました。



初回から大変な賑わいとなった「カリンバ朝市」



視察研修で記念の1枚(幕別町・十勝ヒルズにて)

新たな試みを始めたいです!

ここでは、もぎたて朝市会での新たな試み、そして、前号に引き続いて、JAしずない青年部が実施しているミニトマト栽培の出前授業について紹介します。このような様々な活動を行っていますが、ともに会員部員が減少傾向にあります。少しでも興味のある方は、営農部営農課(担当 岬 TEL 42-1051)までご連絡をお願いします。



あとは収穫を待つだけ

JAしずない青年部食育出前授業

JAしずない青年部(部長 不動達也 部員32名)では、前号でもご紹介した5月の食育出前授業に続いて、7月12日に桜丘小学校、7月17日に山手小学校で2回目となる食育出前授業を行いました。

桜丘小学校では、不動達也部長と杉山智副部長、山手小学校では、不動部長と落合信幸副部長が先生を務めて、芽かきと芯止めの指導を行いました。

実をつけ始め、順調に生育している株の芽かき作業に子どもたちは真剣、慎重に取り組んでいました。

また、青年部では、9月8日に苫小牧市・道の駅ウツナイ湖で行われる「日胆地区JA青年部協議会PRイベント」に出店します。



不動部長の説明に子どもたちも真剣です

このPRイベントは、日胆地区の全11青年部が地域の特産野菜や加工品を持ち寄り、販売をします。
販売時間は午前10時から売り切れ次第終了となっておりますので、お近くまでお越しの際には、是非お立ち寄り下さい。